

過密労働と過酷な長時間夜勤で 医療の安全と働くものの健康が脅かされています



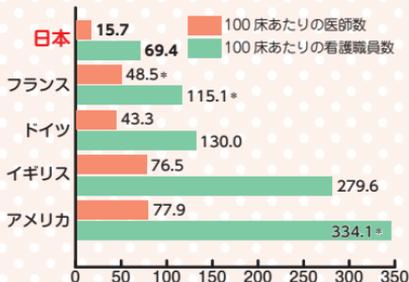
7割以上の職員が慢性疲労をかかえています

安心・安全の

医療・介護の実現には

夜勤改善と大幅増員が必要!

こんなに少ない
日本の医師・看護職員数



出典: OECD「Health Data 2010」
*は実際に病床にあたる職員に加え研究機関等で勤務する職員を含む

夜勤は有害! だから
法規制と保護が必要です

作業効率が一
酒気帯び状態より低下!



夜勤・交代制勤務は、働く人のリスクを高めます。
睡眠障害や循環器系障害のほか、人工照明を夜間浴びることで乳がんや前立腺がんの危険も指摘されています。

裏面の署名にご協力ください!